

今年は午年！「百万馬力」「万事うまくいく」「馬が合う」と、
馬にかけた言葉は馬の力強さとともに前進をイメージできます。
この1年が皆さんにとって、何事にもうまくいく年でありますように！
颯爽と駆け抜けてください！



2025年度 北高図書館でよく読まれていた 漫画と小説のベスト 5

1位メダリスト

2位 ダーウィン事変

3位 アオのハコ

4位 文豪ストレイドッグス

5位 チ。地球の運動について



フィギュアスケーターになりたい夢が破れた青年と同じくその夢から見放された少女、氷の上で出会った2人がタッグを組んで、世界を目指していく話。感動間違いありませんよ。

来月、イタリアのミラノで冬季オリンピックが開催されますが、リアルな体験ができるかもしれないですね！



1位



東野圭吾作品が堂々、1位と4位に登場！

『白鳥とコウモリ』の続編にあたり、都内の高級住宅地でおきた火災と夫婦の遺体から始まる事件。

事件のカギが登場人物の過去や青春にあり警察小説と青春小説の要素満載。

2位



著者紹介：早見和真

横浜出身の47歳、野球少年で小6年生では130キロのボールを投げ、野球推薦で桐蔭学園に入学。2年先輩に元巨人監督の高橋由伸さんがいたそうです。昨年、ヒットした『ザ・ロイヤルファミリー』は早見作品。同級生の親に馬主さんがいてヒントになったそうです。

1位『架空犯』 東野圭吾著

2位 『店長がバカすぎて』早見和馬著

3位 『成瀬は天下を取りに行く』

宮島未奈著

4位 『白鳥とコウモリ』 東野圭吾著

5位 『C線上のアリア』 湊かなえ著





新着図書



『女王さまの休日』 古内一絵著



マカン・マラン=インドネシア語で“夜食”。このシリーズは、夜だけ開店する夜食カフェの店主シャールが、悩みを抱えるお客様を、**美味しいごはん**と**温かい言葉**で救うお料理小説。

今作はシリーズ**番外編**として、**シャールの休日**が描かれます。舞台は**台湾**！**過去作のメンバー**にも会えるかも。

『エピクロスの処方箋』 夏川草介著



母を亡くし一人になった甥の為、地域病院で働く内科医雄町を通し、前作『スピノザの診察室』同様、**人の幸福とは何か**をえがく続編。

哲学者エピクロスは、**快楽とは心に悩みがなく、体に苦痛がないこと**だといひ、著者はプラスして「**孤独でないこと**」という。**人を救うのは医療だけではない**ことを教えてくれます。

『きょうの日はさようなら』 一穂ミチ著



「今日から一緒に暮らす」と、父が連れてきた女子高生の今日子は、事故で30年間眠っていたという。明日子と日々人は困惑しながらも次第に今日子を大切に思う様になったが、今日子の事故の真相を知り・・・

切なさや温かさの残る青春SF？小説です。

『シークレット・オブ・シークレッツ』

ダン・ブラウン著



約8年ぶりの新作。なんと10年にも及ぶ構想期間を経て完成したという。

舞台は古都プラハ。象徴学者のロバート・ラングドンは、失踪した恋人キャサリンと、彼女の原稿を探し、「**人間の意識**」に迫る。登場するありとあらゆるものが実在するといひ、すでに**Netflix**で**ドラマ化決定**。

『誰にも支配されずに生きる』 岸見一郎著



八北図書館でも多くの利用がある『**嫌われる勇気**』の著者最新作。

子育て中アドラーの本に救われ、共有したいと考えたという著者。日常にあふれる“もや”に対しての**実践例**が多くついています。

息苦しさを感じている方、何かヒントがあるかも？

『頼るのがうまい人がやっていること』

有川真由美著



“自立する”とは、自分一人で何でもするのではなく、**たくさんの頼る人、頼るものをもつこと**。

迷惑かけないように頑張らないと！と常に肩に力が入っているあなた！

頼り頼られ生きていく術を学びましょう。

『経済用語図鑑』 花岡幸子著



市場、GDP、円安円高、リーマンショック・・・分かるけど説明するのはな、と思う方も多いのでは？

大和証券グループの社員である著者がイラスト交えて説明します。知りたいページだけをバツと読める便利図鑑！

『5分後にエモい古典文学』 野月よひら著



“春”をテーマに11の古典作品を新釈で紹介。

元々の原典【古文】、それをもとに物語を簡易的に説明した【あらすじ】、現代の青春・恋愛に絡めた【**超新釈**】の三部構成になっているので、物語を身近に感じられ、古文への苦手意識とさよならできるかも？

